

道路管理の充実

—路上工事の縮減—

施策の効果等

【対象】 ○ユーザーの視点に立った路上工事縮減

【視点】 ○路上工事時間の縮減
○道路利用者の満足度向上

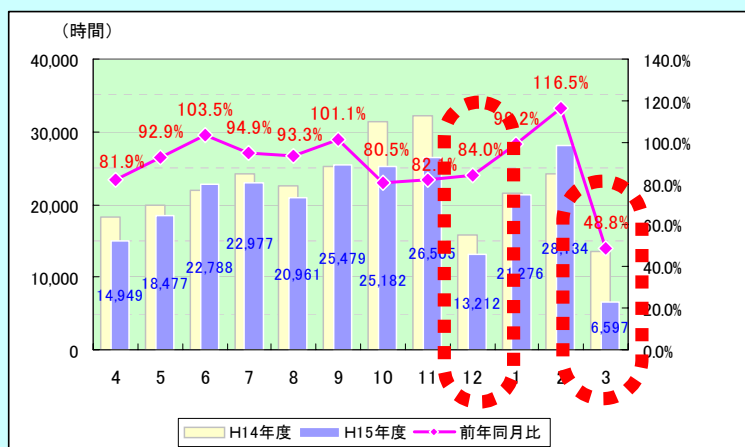
背景： ▶路上工事件数は、ここ10年で半減。しかし、路上工事についての道路利用者の不満の声は依然として多い。
▶H15年6月に「ユーザーの視点に立った道路工事マネジメントの改善委員会」(委員長：家田仁 東京大学教授)を設置。
▶「1kmあたりの年間路上工事時間」をアウトカム指標とし、H19年度までに2割縮減(対H14年度比。H15年度は4%縮減を目標)を目標としてマネジメントを開始。

【主な効果】 ①路上工事時間の縮減(H15年度実績)

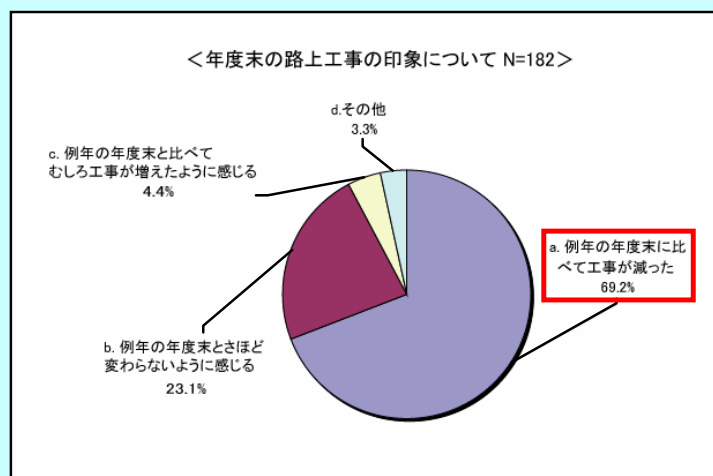
- 全国の直轄国道においては、「4%縮減」の目標に対して**約7%縮減**の186時間/km/年。
- 三大都市の直轄国道、都・県道、主要市道においては、いずれも目標の「**4%縮減**」を達成。

②東京23区の年末・年度末抑制

- 直轄国道及び都管理道路で、年末・年度末の路上工事を原則ストップ等の方針を打ち出し、共に対前年同月比で**約7%の縮減**。特に、直轄国道においては、**年末では約2割、年度末では約5割の縮減**を実現。
- 路上工事モニターを対象とするアンケート調査によると、H15年度末の路上工事抑制について、回答者の**約7割が路上工事は減ったと実感**し、約7割が有効な施策であると評価。



< 東京23区内直轄国道における
月別路上工事時間比較 (H14, 15年度) >

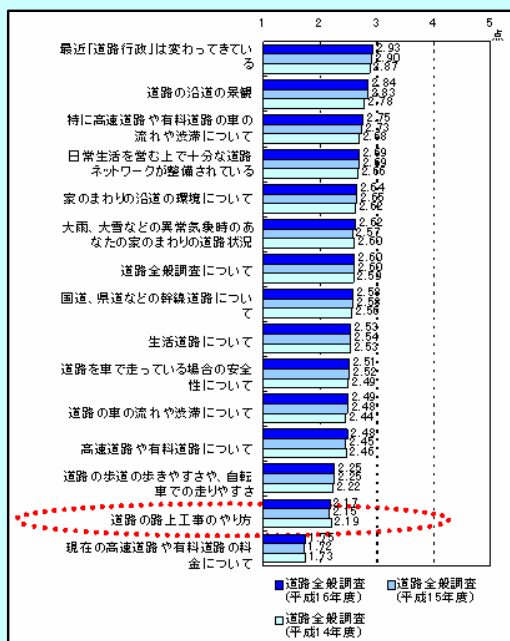


< H15年度路上工事モニター調査結果：
年度末の路上工事の印象について >

主な課題

○依然として「予算消化のための工事はムダ」「同じ場所を何度も掘り返している」といった苦情や批判が多い。

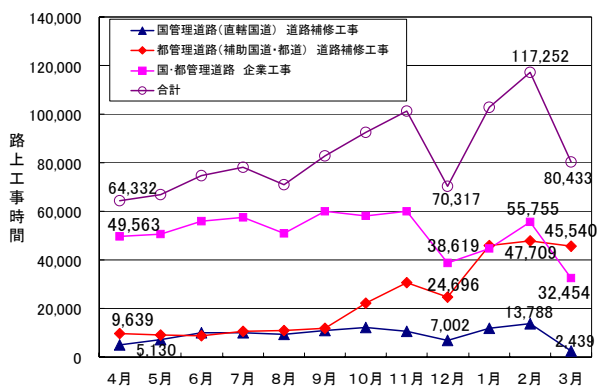
○さらに、「道路の路上工事のやり方」は、**道路利用者満足度調査**においては**3年連続ワースト2位**。



＜道路利用者満足度調査(H14～16年)＞

○年間路上工事時間の縮減、年末・年度末の路上工事抑制等において一定の成果。

○しかし、都管理道路の道路補修工事の路上工事時間が、**批判の多い年度後半に増加する傾向**。



＜H15年度の各月別の路上工事時間(東京23区)＞

今後の対応方針

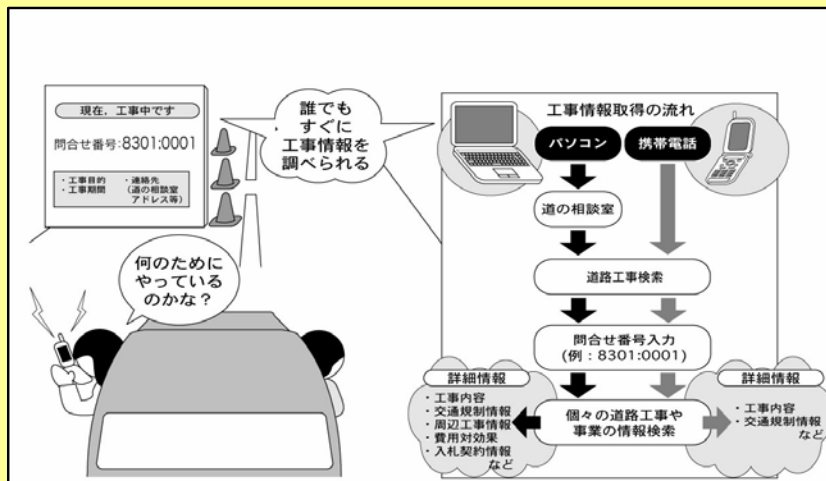
●路上工事情報提供の充実

【路上工事情報のリアルタイム化】

○現場から直接入力した開始時刻・終了時刻をHP等でリアルタイムに提供。

【工事看板に「問合せ番号」を導入】

○東京23区の直轄国道で行う工事現場の看板に「**問合せ番号**」を導入。



＜「問合せ番号」による路上工事情報提供＞

●外部評価強化による路上工事縮減

【毎月の路上工事時間を集計・公表】

○路上工事時間を毎月集計し、結果を整備局・事務所にフィードバックし、HP等で公表することにより、路上工事縮減のマネジメントを強化。

【路上工事不人気投票の実施】

○東京23区の直轄国道で行う路上工事を対象に、「問合せ番号」を使った「**路上工事不人気投票**」を開始。

○結果はHP等で公表し、道路利用者チェックしていただくとともに、路上工事实施方法等の改善に活用。

【路上工事Gメンによるチェック】

○タクシー、トラックなどのプロドライバーや一般公募のモニター(**路上工事Gメン**)により路上工事实施状況をチェック。